

重点課題	活動テーマ	達成に向けた施策	基準年度 (2021年度)	中間目標及び進捗 (2025年11月現在)	目標 (2030年)	
食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する	環境	環境に配慮した設備の更新 (CO2排出量削減)	【電気使用量】 1335.8kwh / 百万円 (製造高) 【冷凍機】 0機 / 5機 【照明】 65機 / 142機	【電気使用量】 792.0kwh / 百万円 (40%削減) 【冷凍機】 1機/4機更新 【照明】 136機/142機 更新	2021年度対比 電気使用量45%削減  すべての冷凍機・照明 設備の更新	
	7 温室効果ガス削減に もって貢献し	食品廃棄物の削減や活用	・ 製造工程の自動化によるロスの削減 ・ 自社直販による規格外品の販売 ・ 完全受注による製造への転換 ・ 製造工程でのロス削減 (既製品・パーツ以外での開発)	【廃棄量】 31.26kg / 百万円 (製造高)	[2021年度対比] 35%削減 (20.0kg / 百万円)	
	12 つくる責任 つかう責任	インボイス制度の導入 (ペーパーレス化の推進)	・ 伝票の電子化 ・ 製造現場でのタブレット導入 ・ F A X の電子受信	【購入数量】 約100,000枚 / 年	【購入数量】 約 50,000枚 / 年 (50%削減)	[2021年度対比] 80%削減 (20,000枚 / 年)
	13 気候変動に 具体的な対策を	働き方	全社員が活躍できる労働 環境整備 ・ 適正な労働環境の整備 ・ 社員の健康増進 ・ ワークライフバランス の実現	・ 残業時間の削減 ・ 働き方改革の実施 ・ 製造現場でのタブレット導入 ・ ISO9001の仕組みを利用した社 内向け整備 (従業員も大切な顧客 と捉える)	【月間残業時間平均】 22.4h	[2021年度対比] 残業時間30%削減
8 働きがいも 経済成長も	※当社のCO2排出の約9割以上が電気の使用に由来しております。その ため、電気使用を抑制することがCO2の削減につながると考えエネル ギー効率の良い設備への更新、「省エネ」に努めてまいります					